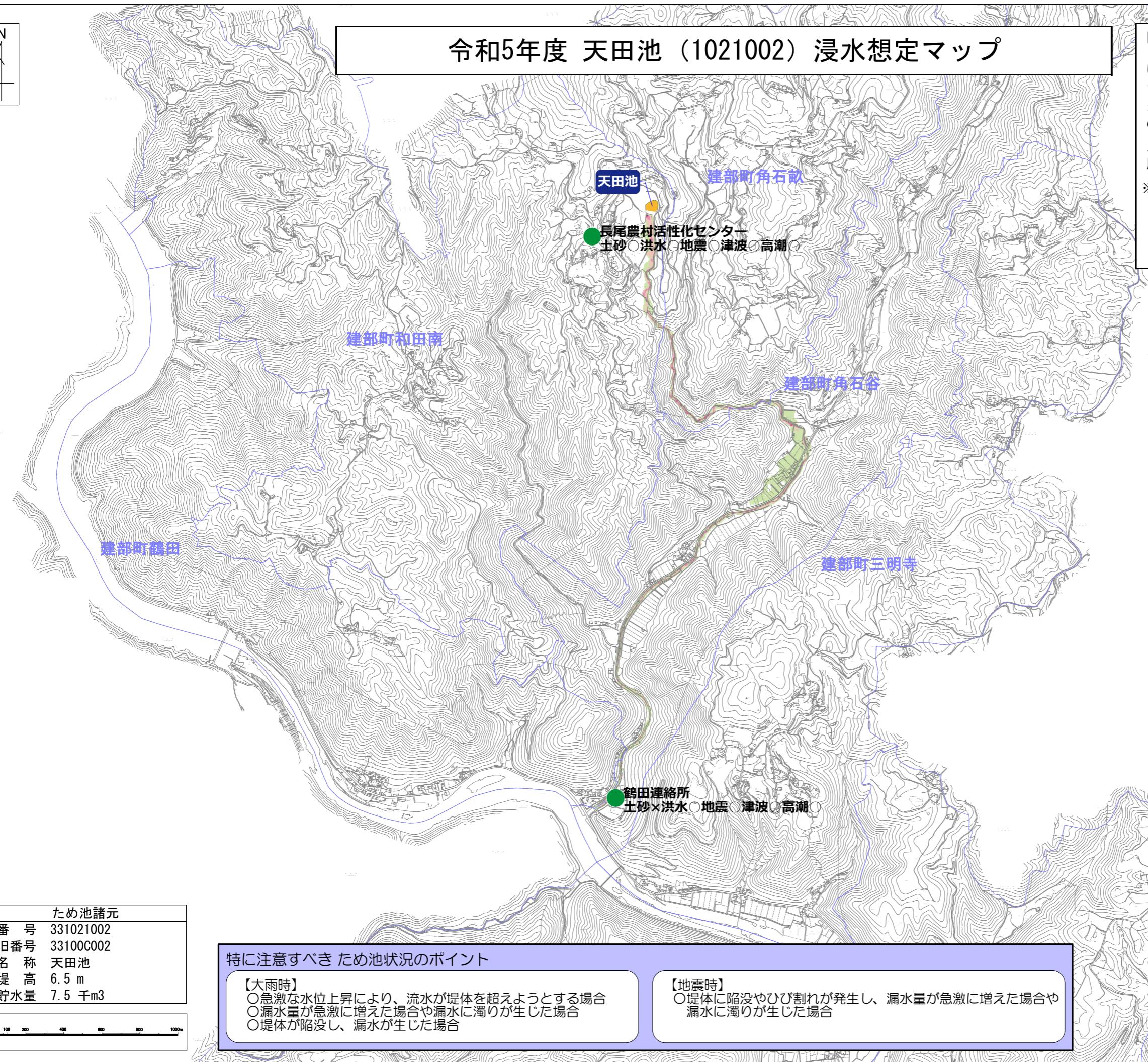


令和5年度 天田池（1021002）浸水想定マップ



【ため池浸水想定マップ】

ため池は農業用水の供給等の多面的機能を持っています。一方で地震や豪雨の発生により、決壊すると大きな災害につながる危険性も併せ持っています。そこで、ため池決壊被害の軽減、防災意識の向上を目的として「ため池浸水想定マップ」を一定規模のため池毎に作成しました。

日頃からため池災害に備え、避難ルートを確認するなど迅速な避難や災害対応の基礎資料※として活用していくだければと考えています。

※ため池浸水想定マップは、雨量及び震度に関係なく堤体が破堤し、貯水量の全量が流出することを前提とした解析結果であり、流出後60分間の中で最大水深を表示したものです。
破堤箇所、詳細地形、気象状況等により、更に広がる可能性もあります。

避難施設の凡例	
岡山市が開設する避難場所 兼 避難所	<ul style="list-style-type: none"> ●避難場所：一時的に滞在するための施設や場所のことです。 ●避難所：一定期間生活するための施設のことです。
その他の避難場所	<ul style="list-style-type: none"> ●各施設の管理者などが状況に応じて開設する避難場所です。 ●未開設の場合もあるため事前に開設状況を確認してください。

■浸水深の凡例と状況	
5.0m以上	2階屋根以上浸水
3.0m~5.0m未満	2階軒下まで浸水
2.0m~3.0m未満	2階床下まで浸水
1.0m~2.0m未満	1階軒下まで浸水
0.5m~1.0m未満	床上浸水
0.5m未満	1階床下まで浸水

令和元年度作成地図を使用